

# 米軍普天間基地の返還・辺野古への移設反対

## 都市型戦闘訓練施設の建設中止・地位協定の改定を求める緊急署名

### 趣旨

8月13日午後2時17分頃、米軍普天間基地所属のCH53D大型ヘリコプターが、宜野湾市の市街地上空で空中分解し、沖縄国際大学に墜落・炎上しました。墜落の際にヘリが衝突した沖縄国際大学1号館や周辺民家は大きな損害を受け、市民を生命の危険の恐怖に陥れました。市民の中には墜落事故後、心的外傷性ストレス症候群を引き起こしている人もいます。市の中心に普天間基地がある限り、今後も事故が起こる可能性は十分にあります。そのときには、被害はより大きなものとなるでしょう。

日米両国政府、稲嶺沖縄県知事、岸本名護市長は、普天間基地の名護市辺野古沖への移設を進めてきました。ヘリ墜落後も新基地建設を急ぐべきと主張し、那覇防衛施設局は建設のためのボーリング調査を強行しています。普天間基地は軍用機が発着する軍事基地であるから危険なのであり、辺野古沖に移設しても、危険が軽減するわけではありません。基地を閉鎖することでしか、危険は無くならないのです。

また米軍は金武町のキャンプ・ハンセンに、都市型戦闘訓練施設を建設中です。キャンプ・ハンセンでは、流れ弾が民家に飛び込むなどの事故が度々発生してきました。今回建設される訓練施設は沖縄自動車道から250m、民家から300mの場所にあり、事故が発生すれば大惨事を招きかねません。

地位協定に守られた米軍兵士は、事件や事故をおこしても事実上、責任を問われません。地位協定を改定し、県民の生活と権利を守ることは緊急の課題です。

沖縄県民は戦後59年間、米軍基地の重圧の下での生活を余儀なくされ、生命と人権、財産が奪われてきました。いまこそ、沖縄米軍基地の縮小・撤去が必要なのです。

こうした状況に鑑み、私たちは衆議院・参議院並びに日本政府に対して、以下の事柄を求めます。

衆議院議長 河野洋平 様  
参議院議長 扇 千景 様 紹介議員  
内閣総理大臣 小泉純一郎様 請願者

### 請願事項

1. 米国に対し、普天間基地の即時閉鎖と、無条件全面返還を求めること。
2. 日本政府は、普天間基地の名護市辺野古沖への移設を中止すること。
3. 米国に対し、金武町キャンプ・ハンセンでの都市型戦闘訓練施設の建設中止を求めること。
4. 地位協定を抜本的に見直し、市民の生活と権利を擁護するように改定すること。

名 前	住 所

署名呼びかけ団体

署名取扱い団体

フォーラム・平和・人権・環境

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館1階

電話 03-3589-8222 F A X 03-3589-8223